

にこにーぼつち本



—
零
—

1年2組
矢澤にこです

夢は、名前の通り、
皆をにこにこ笑顔にできる
アイドルになることです



よろしく
おねがいします

彼女が
高校生活に



これはまだ

アイドル部

体験入部受付中!
お気軽にドウゾ☆



夢と希望を抱いていた
頃の

話である





希!

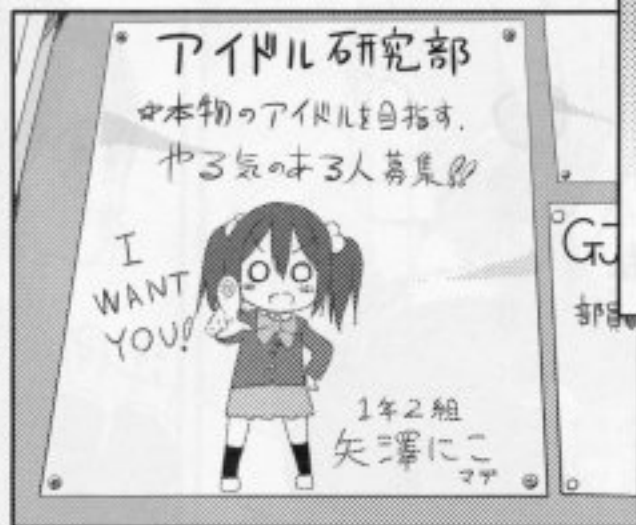
私、
決めた!

本物のアイドルを
目指すための

本格的な
部活を作るって!

思えばこれが

彼女の転落の
始まりだったのかも
しれない



私だって

アイドルが
大好きだもん



にこつちが
そこまで言うなら

私は
止めないよ

希……



私はダンスもできないし
アイドルの事も良く分からないから
部員にはなれないけど

部員が集まるまでは
何でも手伝うよ



花札が私に、

そう告げるの!!

はい~~~~!!?

そこはさ

もうちよつと
気の利いたこと
言えないワケ?

気?

はあ

はあ

希もさ

美人だし
頭いいんだから

もうちょっと
女の子らしい
趣味とか見つけた方が
いいよ

花札とか風水とか
「おんみよーどー」?とか
正直ちょっと
オバサンくさいと思うし・

おほんぞー?!

あいかわらず
にこっちは
容赦ないね・

しほ〜ん

ゴメン
ゴメン・

でも・

にこっちの
そういうところ

嫌いじゃないよ

でも

そうだね

にこっちも
変わろうと
してるんだし

私も
変わらないとね

大丈夫

希ならきつと
上手くいくよ

がんばろ

お互い

それから



根気強い勧誘が
実を結び



彼女のアイドル研究部は
着々と部員を増やしていった



もう大丈夫みたい
だね



あなた！1年のクセに
先輩に意見する気？



先輩だろうと
関係ありません

ここは
図書室です

騒ぐなら
他所でなさったら
いかがですか？

ああ
なんかシラけちゃった

カラオケでも
寄ってかない？

ありがとうございます
絢瀬さん

勉強に集中できなくて
困ってたんだけど

相手は先輩だから
何も言えなくて…

別にいいわよ

私も読書中で
鬱陶しかったし

おもしろい
子だなあ…



このまま全てが
うまく行くように
思われた・・・



にこっちの部は
日に日に部員が
増えていき

☆
アイドル研究部 ♪
ファーストライブ!
♪

15:30～ 講堂にて。

あの日が
来るまでは
・・・





本物のアイドル
なんて、夢の
また夢…



結局さ、
私達のやってること
なんて

ただの
お遊びだった
って事だよ



なあんて

シケこんでばっかも
いられないわよね！



今日ので分かったわ
私はまだまだ
研究が足りないん
だって

まだまだ改善の余地は
いくらでもあるって事ね
ワクワクするじゃない



それで今度は、
講堂を観客で
いっぱいにして見せる！



私、もっともっと
研究して
練習して

もっともっと
すごいユニットに
してやるんだから

私やる

やるったら
やる！

その時の彼女の背中
は
とても力強く
頼もしかった・・

いや、私がそう思いたかった
だけなのかもしれない

それがただの強がりだと
気づいてあげられて
いたなら
もっと支えてあげて
いたなら

ほらあ
またびしょ濡れ・・

水も滴るいい女♪
なんちゃって・・

にこっち
〜っ！

ちょっ！

ワシワシは
やめてよ〜

あんなことには
ならなかったのかも
しれない・・

講堂ライブ以降
アイドル研究部の部員は

一人…

また一人と
減っていった

そんなある日

ねえねえ
聞いた？
中庭で変な事
叫んでる集団が
いるんだって

え？マジ？
ちょっと見に
行こうよ！

なにそれ面白そう！
写メ撮って
拡散しちゃおう

なんだろう？

こ…

これは…



にっこにっこ
にっこにっこ

みんなも
一緒に〜

にっこ
にっこ



人前でこんな恥ずかしい
マネするなんて
どうかしてるよ!

うん...
もうやだ



でも
アイドルにキャラ作りは
不可欠だよ!

私たちには
キャラが足りなかつた
んだよ!



もうカンベンして!

!?

アタシらはただ楽しく
部活やりたいだけなの

プロ意識だの
押し付けられても、正直
ありがた迷惑なんだよね

でも
レベル上げて

たくさんの人に
見てもらえるように
なれば

きつともっと
楽しくなるよ

だったら一人で
練習して
オーディションでも
受けて

プロのアイドルにでも
なんでも
なればいいじゃない

あなたの自己満足に
アタシらまで
巻き込まないで
くれる？

正直、

もうついて行けないんだよね

それじゃ

待ってよ!!

矢澤さん





希・

にっこち



とうとう
ひとりになっちゃった・

私・



笑っちゃうよね

学校で
アイドルなんて
絵空事だったんだよ

結局あの子たちなんて
ただ持てはやされ
たかったり
オトモダチごっこが
したかっただけの
甘々な連中だったんだよ

楽しい時や
都合のいい時だけ
擦り寄ってきて
少しでも苦しかったり
都合が悪くなったり
すると
すぐ裏切る・・・

私もバカだよ

オトモダチと一緒に
仲良くアイドル
だなんて

アイドルの世界では
自分以外のアイドルは
全員蹴落とし合うだけの
敵でしかないのにな

誰よりもアイドルを
冒瀆したのは
私だった・・・

それは違うよ！

にこっち

違わないよ

てか

遠くから見てただけの
アンタに
何が分かるって言うの!?

何も言い返せなかった・

彼女はこれまで何度も
助けを求めていたのに
無理をして強がっていたのに
私はそれに気付けなかった・

いや、気付かないふりをして
目を背けていた

そうやって私は
何もしなかったんだ

そんな私に、
今さら慰めの言葉を
かける資格なんて無い

希さ

今度
生徒会選挙に
出るんだって？

え？

うん・
まあ

だったらさ、
私なんかにつくって
場合じゃないでしょ

ポスター作ったり
スピーチの準備したり
色々やることあるでしょ？

私はひとりでも
大丈夫だから

てか、

孤独に耐えられなきや
アイドルになんて
とてもなれないし

だからさ

希は希のやりたい
事を
全力で頑張るよ

自分の無力さが
たまらなく
歯がゆかった・

希ならさ

きっといい
生徒会長に
なれるよ

1年じゃまだ
生徒会長には
なれないよ・

ああ!
そうだった・!

何気ない
会話のやりとりも
どこか虚しかった



■あとがき■

お手に取って頂き、ありがとうございます。
少しでも楽しんで頂けたなら光栄です。

この漫画は、1年の頃のにこに一や希を
自分なりの解釈や妄想全開で描いたものです。
あくまで一個人の勝手な妄想としてお楽しみ下さい。

因みにこの漫画では、にこと希は中学以前から、
もしくは高校に入ってすぐに仲良くなった
友人という設定になっています。

本当はにこに一のほっちをネタにしたギャグ漫画に
するつもりだったのですが、いざ描いてみたら
ご覧の通りかなりシリアスな内容になってしまいました。

今度はオールキャラ出演のギャグを描きたいですね。
それでは、機会があればまたどこかで。

2013.04 九郎

twitter : Trg_AKT_HELL

pixiv : id=136872 ◆ユーザー名 : くらう(九郎)

☆21 ページ目のにこに一、最初は泣かせるつもりでした・・・
せっかくなので・・・ ↓





スクールアイドル・
 やっぱダメなのかなあ・
 ・



廃校・

か・



あゝあゝ

いい考えた
 思うんだけどな



おもしろそう
 やね



廃校を阻止するための
 スクールアイドル・か・

これは・
やり直せる
チャンスかもしれへんね

だとしたら
今度こそ
ウチがしっかりサポート
しないかね

おせつかいだと思われても
かまわないよ

だって

何もできなくて後悔するのは
もうイヤやもん

カードがウチに

そう

告げるんや!!



Namaekaetai 2013